

令和5年度児童発達支援・放課後等デイサービス 事業所自己評価及びアンケート結果対比表

	事業所評価			チェック項目	利用者評価	
環境面	はい (55%)	18%	いいえ (27%)	①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	はい (92%)	8%
	はい (65%)	どちらとも (35%)		②職員の配置数や専門性は適切か	はい (100%)	
	10%	どちらとも (64%)	いいえ (26%)	③事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい (93%)	7%
適切な支援の提供	はい (82%)	9%	9%	④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか	はい (100%)	
	はい (91%)	9%		⑤活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	はい (100%)	
連携	はい (27%)	どちらとも (46%)	いいえ (27%)	⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8%	どちらとも (70%) いいえ (22%)
説明責任	はい (82%)	18%		⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	はい (93%)	7%
	はい (82%)	18%		⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	はい (100%)	
	はい (64%)	どちらとも (27%)	9%	⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	はい (86%)	14%
	はい (91%)	9%		⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	はい (93%)	7%
	はい (91%)	9%		⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい (79%)	21%
	はい (91%)	9%		⑫子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	はい (93%)	7%
	はい (63%)	9%	9%	⑬定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を発信しているか	はい (79%)	21%
	はい (73%)	どちらとも (27%)		⑭個人情報に十分注意しているか	はい (100%)	
非常時の対応	はい (73%)	どちらとも (27%)		⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	はい (86%)	14%
	はい (73%)	どちらとも (27%)		⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	はい (93%)	7%
その他				⑰子どもは通所を楽しみにしているか	はい (100%)	
				⑱事業所の支援に満足しているか	はい (100%)	

※無回答はどちらともいえないで集計

## ご意見

- ・いつもありがとうございます。
- ・親子共々利用させていただいてとても嬉しく思っています。細かいことも気づいていただいたりありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。
- ・地震も増えているので、定期的に訓練を行い、子供達にも大切さを伝えてもらいたい。
- ・コロナが5類に変わってから、どのような対応になったのか、私が把握出来ていないだけかもしれないが、改めて周知いただきたい。
- ・いつもあたたかく接してくださいましてありがとうございます。

### ▶上記アンケートに対しての意見（保護者）

- ⑤に対する意見…コロナが5類に変わってから、どのような対応になったのか、私が把握出来ていないだけかもしれないが、改めて周知いただきたい。
- ⑥に対する意見…地震も増えているので、定期的に訓練を行い、子供達にも大切さを伝えてもらいたい。

### ▶上記アンケートに対しての意見（スタッフ）

- ①に対しての意見…十分なスペースがあるとは言えない。
- ③に対しての意見…入口の狭さや、トイレの介助の十分なスペースが確保されていない。全体がバリアフリー化された快適な場であってもよい。
- ④に対しての意見…一人一人の課題をピックアップして取り組めそうなことを検討しても良いかもしれない。
- ⑥に対しての意見…外部との交流に関しては感染症の問題もあるためか実施できていない。

## 自己評価とアンケートについて

### 共通点

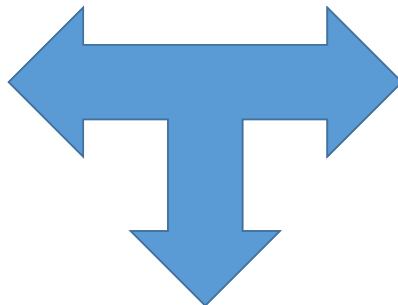
支援の提供、共通理解については概ねポジティブな意見で一致していた。また、地域との交流については「どちらともいえない」・「いいえ」という意見が多かった。

### 相違点

環境面、非常時の対応に関しては相違が大きかった。

## 事業所の強みと改善点

利用者に対する個別の支援の提供や、保護者間、スタッフ間の共通理解はおおむね個人に合わせた支援が出来ていると思われます。今年度も小規模であるが、定期的に保護者同士の連携支援の機会を作れたことが昨年よりも良い結果に繋がったと考えられます。



・今年度もコロナなど感染症の問題もあり、放課後児童クラブ等との交流はできなかったが、地域に住む子どもたちとの交流は感染症などの状況を鑑みて検討していきます。

・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練については年2回以上実施しているが、訓練の頻度や避難訓練の内容は毎年検討していく必要があると考えます。

・施設内のスペースに関しては、限られた中で工夫し活動や支援ができるよう検討していきます。

・バリアフリーについては、トイレの改修を予定しております。

## 改善に向けた取り組み

今年度も感染症を考慮し小規模だが保護者会活動にて保護者同士の連携支援の機会を作れたことがアンケートの結果に繋がったと思います。外部との交流については感染症の問題もあり中々積極的に進めていくことができませんでしたが、散歩やお出かけを通して地域との子ども達との関わる機会は継続して増やしていきたいと考えます。非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練については年2回以上実施していますが、市のハザードマップに対応した災害を想定した訓練、避難経路・手段の確認、児童に合わせた避難方法を検討していきます。感染症についてはまた改めて周知させていただきたいと思います。支援については、引き続き子供たちの経験の幅の広がりにつながるよう、多職種による関わりにて必要な支援の提供が安全に行えるよう整備を図っていきます。